

とものんのお悩み相談コーナー 第2弾

今回のお悩みは…



気難しかったり精神的な問題を抱えた利用者さんとの関わり方に悩んでいます。物取られ妄想や他の職員の悪口、他責思考の傾聴は心理的負担が大きく、どこまでが受容すべきラインか見極めにくいです。皆さんはどうされていますか？



受容は難しいかもしれませんが、まずは傾聴と思います。自分一人で悩まないで他の職員の方と連携をして対応されたらいかがでしょう



状況の応じておたがいの距離を置き負担のないようにする
(気にするとキツイので、可能なかぎり)



触りの部分を聞き、傾聴はするが他のスタッフに変わったりするなどして、精神的負担を軽減する

①一緒に探しつつ話をすり替える。職員をかえて対応していく②「そーなの？知らなかった」と傾聴、言いたいだけ言わせる。言いたいだけ言っただろうあたりで話を替える。①同様、職員を替えて負担を軽減するように努力する



傾聴は大事。負担に感じる時は応援スタッフと交代するなど対応する

施設に在籍する相談員に利用者さんの話を聞いてもらう。



主治医に相談する。支援しているチームで対応を話し合い、気持ちの共有や自分はこのようにに対応しているなど意見交換をしあう。自分だけが悩んでいるわけではないと分かることでも、心理的負担は減るのではないのでしょうか？まあ事例検討会として施設全体で対応を話し合ってみてもいいのは？



その方の病気をまずはその職員に理解をするように話し、必要であれば他職種での話し合いから、他の方がどのように対応しているかや、看護職員から担当医へ相談していただく事の提案をお願いするなどしています。



業務が多忙のなか1人で対応をしないことが大切だと思います 話を聞いてほしい気持ちがあるので聞きたくない話もありますが傾聴できる時間を作るとよいのではないのでしょうか



同じ利用者さんと関わる同僚職員に、自分が聞いたりされた行動を伝え、どのように対応しているか話合ってみる。他の職員の悪口については、自分のことも言われていると思うが…と前置きをし、具体的な悪口の内容を話を同僚や上司に話しをする。自分では考えつかなかった視点や考え方で負担軽減することもできるかもと思います。

アドバイスコメント
ありがとうございます

